

発達障害支援に関するメールマガジン
『すまいる通信』配信のお知らせ

毎月20日に配信します



『すまいる通信』は、あらかじめご登録いただいた方にパソコンや携帯電話などのメールを利用して、支援に役立つ情報やイベントをお知らせするサービスです。ぜひご活用ください。

(情報利用料は無料。ただし通信料は自己負担となります)

新規登録、登録内容の変更・登録の解除

下記のアドレスまたは右の二次元コードより案内に従い、空メールを送信してください。

➡ <https://mail.cous.jp/setagaya-mail/>



〈配信元・問合せ先〉

世田谷区障害福祉部障害保健福祉課 TEL 03-5432-2227 FAX 03-5432-3021

世田谷区発達障害相談・療育センター「げんき」

開所日時

月～土曜日(祝日及び年末年始を除く)

午前9時～午後6時

利用方法

世田谷区在住の方を対象としています。

何かお困りのことがあれば、まず、世田谷区発達障害相談・療育センター「げんき」にお電話ください。

TEL 03-5727-2236(相談専用)

〒157-0074 世田谷区大蔵2-10-18

大蔵二丁目複合型子ども支援センター2・3階

TEL 03-5727-2235(代表)

FAX 03-5727-2238

URL <https://www.ryo-iku.jp/>

業務受託／社会福祉法人 トポスの会

〒123-0844 足立区興野2-18-12

TEL 03-5837-4840 FAX 03-3890-8121

「げんき」ホームページのご案内

「げんき」は発達障害に関する理解啓発のために、ホームページを運営しております。

下記のコンテンツを中心に、随時更新しています。

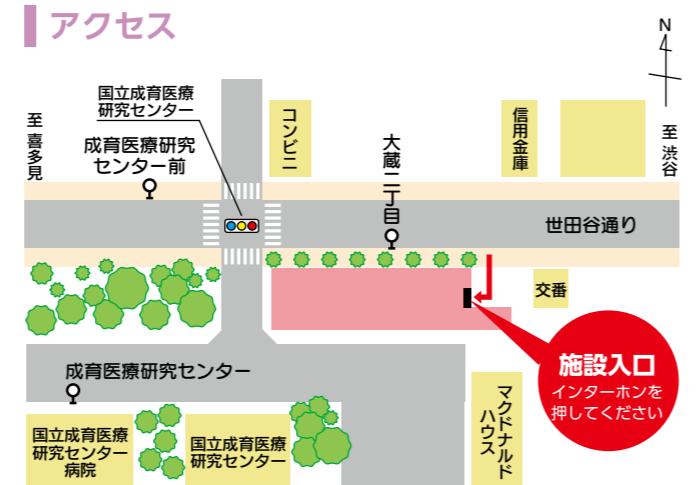
- 「げんき」・発達相談室の利用案内
- 講演会・講座・お話し会等のイベントの告知
- Gpressバックナンバーの掲載
- 発達障害関連情報の紹介 等

ぜひ、ご活用ください。

URL : <https://www.ryo-iku.jp/>



アクセス



「成育医療研究センター前」「大蔵二丁目」バス停下車すぐ

東急バス

- 浅24 成城学園前駅 ⇔ 渋谷駅
- 等12 成城学園前駅 ⇔ 等々力操車所
- 用06 成城学園前駅 ⇔ 用賀駅
- 玉31 成城学園前駅 ⇔ 二子玉川駅

小田急バス

- 渋26 調布駅南口 ⇔ 渋谷駅

渋谷方面行きのバスにご乗車の場合は「成育医療研究センター前」で下車。成育医療研究センター行き、成城学園前駅行き、調布駅南口行き方面のバスにご乗車の場合は「大蔵二丁目」で下車。

※専用駐車場はありません。

Gpress せたがや

第51号

「ジープレスせたがや」
2024年3月発行

書きのしくみを知ろう

～書字能力を育てる3つの力～

例 「貝」という漢字を書くとき



書字とは、音(聴覚イメージ)を文字(視覚イメージ)に変換し、意味を考え、頭に思い浮かんだ文字イメージを、手の運動を通して表出する作業のことです。書字運動には、スムーズに手指を動かす力、文字の構成や配置をイメージする力、文字の形を覚えたり想起したりする力、の3つの力が大切です。



スムーズに
手指を動かす力

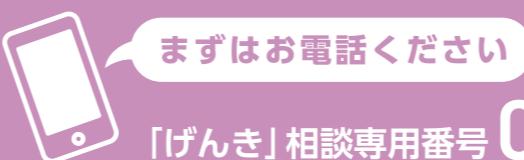


文字の構成や配置を
イメージする力



文字の形を覚えたり
想起したりする力

中面では、「書き」に苦手さのあるお子さんの事例をもとに年齢や得意不得意に合わせた書字能力を育てる関わり方を紹介します。

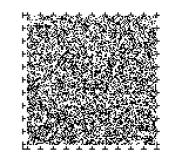


まずはお電話ください

<https://www.ryo-iku.jp/>

「げんき」相談専用番号 **03-5727-2236**

「げんき」では、発達障害に関する全般的なご相談をお受けしています。



書く力を伸ばす関わり方

一人ひとりに合った方法で書くことで、お子さんが本来持っている力を発揮しやすくなります。感覚を刺激することで身体の使い方を意識させたり、支援ツールを使ったり、覚え方を工夫したりしましょう。

運筆コントロールに苦手さがある場合

触覚(指など)を活用しよう

運筆をするためには、肩甲骨周りや腕の筋力、手指をしなやかに使う力、指先の器用さ、目と手の協応が大切です。

指なぞり書き

指先に力を入れることで文字を書くときの力加減がわかりやすくなります。また、よく見て指で書くことで脳が刺激され、文字を覚えやすくなります。

ポイント

- 力を入れて、**指のお腹で書こう！**
- ゆっくりと書き順を言いながら書こう！

こんな方法も他の物で書きをしてみよう！

砂やクリームなど普段触る機会の少ないもので練習すると、触覚が強調されるので、覚えやすくなります。

ステップアップ～そらがきをしてみよう！～

人差し指で空中に文字を書いてみましょう。お子さんといっしょに画数を声に出したり、文字のはねやはらいに注目しながら練習したりすると正しく覚えているのか確認できます。

こんな方法も・・・

紙やすりを紙の下に敷いてみよう！

ザラザラした材質で感覚が入りやすくなります。鉛筆の動きがわかるため、文字のとめはね動作の切り替えを意識できます。

ホワイトボードに字を大きく書いてみよう！

体全体を使って大きく字を書いてみましょう。立って書くことで姿勢も安定します。

文房具を工夫してみよう！

滑り止め付きの定規、鉛筆用グリップ、カドの多い消しゴムを活用してみましょう。手指に感覚が伝わりやすくなるために、力加減をコントロールする練習になります。

字体・字形をバランスよく書くことが苦手な場合

視覚(形のイメージ)を活用しよう

線の重なりや文字の配置を理解する力を伸ばしましょう。

ひらがな色分け

文字がどのような線の組み合わせで成り立っているのかが、色分けをすることでわかりやすくなります。

空間の色分け

空間の位置関係を捉えやすくすることで、文字のパーツの配置がわかりやすくなったり、書き始めの位置が決まりやすくなったりします。

親 空 門 め

字形に合わせて、枠線を変えたり、マス目ごとに部屋番号をつけたりして書き位置を意識づけましょう。

「知」は、みどりの部屋から書き始めます。

やきゅう → や き ゆ う

文字を正確に覚えることが苦手な場合

語呂合わせやパズル・成り立ち(ストーリー)を活用しよう

人によって得意な覚え方のタイプが異なります。下記の2つのタイプのどちらの方が覚えやすいのか考えてみましょう。

部分→全体理解タイプ

ノ + ニ + 人 + 口 = 知

最初から文字のパートを一つずつ付け加えていく、全体像がわかるように、書き順を伝えたり、「へん」と「つくり」の構成順序を意識したりできると覚えやすいでしょう。

語呂合わせ

例：お日さまと青いそらで晴れ

言葉を使ってイメージできるお子さんにおすめです。書き順に従って、漢字の要素ごとに分けて作りましょう。リズム感のある短文を使うと楽しみながら取り組めます。

全体→部分理解タイプ

知 = 矢 + 口

矢と口が組み合って…「知」

文字の全体像(完成形)を見せて、文字のパート同士の位置関係や意味を意識すると覚えやすいでしょう。

漢字パズル

例：部

吉？ 木 人

全体像を理解したあとにまとまりを分解し、パズルのように再構成することで覚えやすくなります。

成り立ち

例：休

人が木の横にいる様子を示している

漢字の形と成り立ちの過程を物語として関連づけると覚えやすくなります。



お子さんと関わるときに
大切にしてほしいこと

書くことだけに苦手さがあるお子さんについては、ICT(タイピング等情報通信技術での入力)が有効な場合があります。苦手な「書く」量を減らして、理解力や記憶力を生かすことにより、学習へのやる気をアップさせることができます。

「書き」の苦手さの背景には、「読み」(文字と音の対応など)の苦手さが関係している場合もあります。「読み」と「書き」のつながりを意識して学ぶことが大切です。



今号と併せて、ぜひご覧ください。
Gpress49号 「読みのしくみを知ろう～苦手さに気づくヒントと対応例～」
Gpress38号 「学習障害(LD)の理解と対応」